

平成 22 年 9 月 10 日
 建築・都市整備・道路委員会資料
 都市整備局

(仮称)横浜駅西口駅ビル計画について ～エキサイトよこはま22リーディングプロジェクト～

1 (仮称)横浜駅西口駅ビル計画について

8月26日に、(仮称)横浜駅西口駅ビル計画について、事業者である東日本旅客鉄道株式会社及び東京急行電鉄株式会社から「横浜市環境影響評価条例」に基づいた「環境影響評価方法書」が環境創造局へ提出され、環境アセスメントの手続が開始されました。その対象事業の概要は以下のとおりです。



	駅前棟	線路上空棟	鶴屋町地区	河川横断部
対象事業実施区域面積	約 19,700㎡			
建築面積	約 8,500㎡	約 4,000㎡	約 4,000㎡	駅前棟と鶴屋町地区を結ぶ連絡橋
延床面積	約 184,000㎡			
	約 136,000㎡ 業務施設：約 65,500㎡ 商業施設：約 62,000㎡ その他：約 8,500㎡	約 18,000㎡ 商業施設：約 13,500㎡ その他：約 4,500㎡	約 30,000㎡ 駐車場：約 800台 駐輪場：約 1,000台	
最高高さ	約 195m	約 50m	約 40m	
階数	地上 33階、地下 4階	地上 8階	地上 9階、地下 1階	
着工年・工期	平成 23 年度 (予定) ・ 約 8 年 (予定)			

2 本計画のエキサイトよこはま22における役割

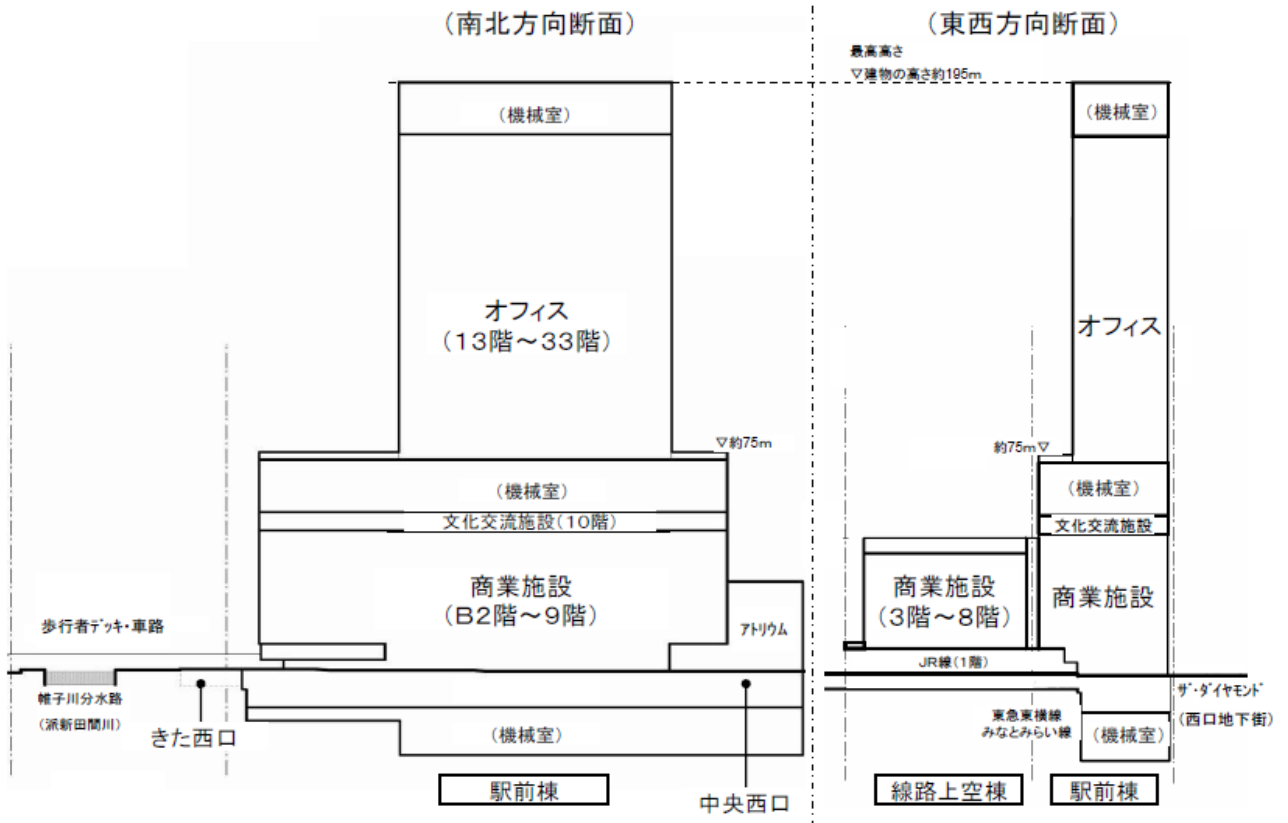
本計画は、「エキサイトよこはま22」の先導的役割を担っております。

そのため、国際都市横浜にふさわしい機能の強化、環境やユニバーサルデザインへの配慮、駅を中心とした歩行者ネットワークの充実などのまちづくりを具体化し、「エキサイトよこはま22」の計画理念を実現するよう、本市では今後とも事業者と協議を進めてまいります。

裏面あり

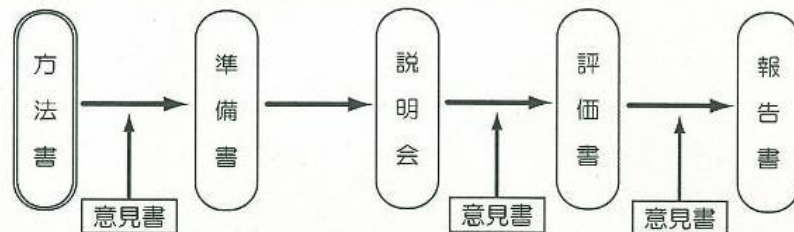
<参考>

1 計画断面図



2 環境アセスメント手続きの流れ

現時点は方法書の段階



方法書は事業内容、環境影響評価の項目、調査・予測の手法及び環境配慮項目の方針等について記載します。